



Global COE “Network Medicine” 主催セミナー

薬物送達学分野主催 講演会 2011-8  
第364回東北大学大学院薬学研究科セミナー



# 新しい医薬資源としての昆虫

講師：名取 俊二 博士

(独)農業生物資源研究所 顧問

東京大学名誉教授

日時：2011年12月8日(木) 17:00-18:30

場所：東北大学大学院薬学研究科 大講義室(1階)

名取俊二先生は、40年近く昆虫の抗菌物質を研究し、この種の物質が単に微生物に対して致死作用を示すだけでなく、哺乳動物の細胞にも特定の生理作用を示すことが明らかになるにおよんで、昆虫が新しい創薬資源となる可能性を考えるようになった。しかし、現在までのところ、昆虫由来の物質が医薬品として開発された例はまだない。本講演では、センチクバエ由来の二つの生理活性物質、L5と5-S-GAD、について紹介していただき、また、昆虫の共生菌が将来の医薬資源として重要であると考え、現在進行中の共生菌ゲノムプロジェクトに関してご講演いただく予定です。多数の方のご来聴を心からお待ちしております。

世話人：〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院薬学研究科薬物送達学分野 寺崎哲也  
TEL: 022-795-6831 FAX: 022-795-6886 E-mail: [terasaki.tetsuya@m.tohoku.ac.jp](mailto:terasaki.tetsuya@m.tohoku.ac.jp)